

【CD管・PF管施設場所、施工要項】

- 合成樹脂管配線は重量物の圧力または著しい機械的衝撃を受ける場所に施設してはならない。ただし、適切な防護装置を施す場合は、この限りではない。
- コンクリート内への埋設は、重量物の圧力または著しい機械的衝撃を受ける場所とはみなさない。
- 周囲温度が高い場所(連続60℃以上になるところ)での使用はお避けください。

電気設備技術基準解釈第158条の「合成樹脂管工事」及び、内線規程3115節の「合成樹脂管配線」その他関連法規に準じて施工してください。

■施設場所(低圧配線)

管の種類	施設場所	電力線		弱電流電線 小勢力回路	防火設備 回路
		絶縁電線 (IV線)*3	ケーブル		
CD管 (ミラフレキCD)	コンクリート埋設	○	○	○	所轄行政機関の御指示に従ってください。
	屋内(露出、いんべい)	×	△	△	
	屋外(雨線内、雨線外)	×	△	△	
	地中埋設	×*1	○*2	○*2	
PF管 (ミラフレキMF ミラフレキSD ミラフレキSS ミラレックス)	コンクリート埋設	○	○	○	
	屋内(露出、いんべい)	○	○	○	
	屋外(雨線内、雨線外)	○	○	○	
	地中埋設	×*1	○*2	○*2	

○：使用可 ×：使用不可 △：自己消火性であるPF管の使用が望ましい。

【※1】 地中電線路に絶縁電線は使用できません。

【※2】 当社ミラフレキCD及びPF管はJISC3653附属書3に適合。

【※3】 ミラレックスはサイズ82に適合します。

注) ミラレックスは地中電線路(電技・解釈120条)もご参照ください。

注) 耐候性(紫外線)劣化が懸念される場合は、「ミラフレキMF(PFD)」をお勧めします。



限られた資源を大切に！
CD管・PF管のお問い合わせは
下記ホームページにも掲載されて
います。

合成樹脂製可とう電線管工業会
<http://www.pf-cd.gr.jp/>

■施工要領

- 曲げ
管内径の6倍以上を標準に、なるべくゆるやかな配管をしてください。
- 切断
ナイフ(又は、塩ピカッター)で管軸に対し、直角に切断してください。
- 配管
集中配管、交差配管を避けてください。
- 固定
管の浮き上がらないよう、鉄筋等に結束固定してください。又、付属品との接続点、曲がり箇所等は、短い間隔で結束固定してください。
- 接続
管相互をじかに接続しないでください。必ずカップリングをご使用ください。
- 付属品
当社付属品をご使用ください。

●合成樹脂管工事(絶縁電線使用)

●ケーブル工事の場合は、使用するケーブルの仕上り外径の1.5倍以上の内径を有する管をご選定ください。(内線規程3165節)

■管の太さの選定

電線太さ		電線本数									
単線 (mm)	より線 (mm ²)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
CD管及びPF管の最小サイズ(管の呼び)											
1.6		14	14	14	14	16	16	22	22	22	22
2.0		14	14	14	16	22	22	22	22	22	28
2.6	5.5	14	16	16	22	22	22	28	28	28	36
3.2	8	14	22	22	22	28	28	28	36	36	36
	14	14	22	28	28	36	36	42	42	54	54
	22	16	28	36	36	42	54	54	54	54	70
	30	22	36	36	42	54	54	54	70	70	70
	38	22	36	42	54	54	54	70	70	70	70
	50	22	36	54	54	70	70	70	70	82	82
	60	22	42	54	54	70	70	82	82	82	
	80	28	42	54	70	70	82	82			
	100	28	54	70	70	82	82				
	125	36	54	70	82	82					
	150	42	70	70	82						
	200	54	70	82							
	250	54	70								

14~28 は内線規程3115節-4(管の太さの選定)による。

36~82 は内線規程をもとに、管の内断面の32%以内で当社にて測定した参考値です。